

氏名	桑原さやか	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	母性看護学、助産学、周産期メンタルヘルス、産後ケア、開業助産師、専門能力、性教育				
学位	修士（看護学）、博士（看護学）				
学歴	2010年北里大学大学院修正課程修了、2026年群馬大学大学院保健学研究科修了				
経歴	2018年神奈川工科大学（助手）、2019年北里大学（助教）、2021年東京医療学院大学（助教）、2024年東京医療学院大学（講師）				
所属学会（役職）	日本周産期メンタルヘルス学会（教育研修員）、日本母性看護学会（将来構想プロジェクト研究メンバー）、日本高度実践看護学会、日本母性衛生学会、日本母子看護学会、日本助産学会、日本看護研究学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	産後のメンタルヘルスケアにおける高度看護実践の探求～母親への直接的 ケアに焦点を当てて～	共著	あり		日本母性看護学会誌、26巻(1)	工藤美子, 福島裕子, 深澤友子, 八巻和子, 桑原さやか, 吉森容子, 佐藤ひさ代, 新井陽子, 遠藤俊子, 石井邦子	2025.9
2	産後のメンタルヘルスケアにおける高度看護実践の探求 ～多職種協働システムの構築に焦点をあてて～	共著	あり		日本母性看護学会誌、26巻(1)	八巻 和子, 深澤友子, 福島 裕子, 吉森 容子, 桑原さやか, 佐藤ひさ代, 新井 陽子, 遠藤 俊子, 石井 邦子, 工藤 美子	2025.9
3	Conceptual analysis of “sex awareness” influencing adolescent sexual behavior in Japan	共著	あり		International Journal of Nursing and Clinical Practices,12(1)	Rie Shinohara, Sayaka Kuwahara, Haruna Murakoshi, Sayaka Takeda	2025.10
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	開業助産師と養護教諭による「いのちの授業」研究会の実践 ―11年にわたる公立中学校での実践報告―	共同	第66日本母性衛生学会、東京		○松沢裕子, 桑原さやか	2025.10	
2	Experienced midwives' professional competencies in community-based postpartum care: Focusing on continuous support and interprofessional collaboration	共同	The 29th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS)		○Sayaka KUWAHARA, Yoko ARAI	2026.2	
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名			研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究（C）	産後ケアコンピテンシー到達度評価表の構成概念妥当性の検討			研究代表者	2025.4～現在	
2	日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究（C）	ICTを用いた産後うつ病予防のセルフガイドプログラムの開発と効果の検討			研究分担者	2023.4～2026.3	

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし			
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし			
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし			
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	該当なし		主指導	副指導 0名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	独立行政法人 国立病院機構 相模原病院 研究指導	2025.10～2026.3	日々の臨床ケアの中で生じたリサーチクエスチョンを基に、実践に還元可能な研究につなげることを目的として支援を行った。研究疑問の明確化に重点を置き、文献検討の方法およびその結果から得られた知見を踏まえ、今後明らかにすべき課題を主体的に見出せるよう、助言を中心とした支援を実施した。また、月1回の対面面談により進捗および方向性の確認を行い、3月にはまとめの会を開催した。今後は学会発表に向けた支援が課題である。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	群馬県妊産婦のメンタルヘルスに関するネットワーク構築事業	群馬県	研修会（オンデマンド） 講師 産後ケアにおける周産期メンタルヘルス ～研究報告やアウトリーチでの実践を踏まえて～	2025.12
2	群馬県妊産婦のメンタルヘルスに関するネットワーク構築事業	群馬県	研修会（対面） ファシリテーター 事例検討、ロールプレイ等	2026.2 2026.3
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	子ども家庭庁委託事業 産後ケア事業多職種連携協議会	教育研修検討委員		2024.8～現在
2	日本専門看護師協議会	評議員		2023.6～2025.6
3	日本助産師会	予備代議員		2023.6～現在
4	東京都助産師会	教育委員会 委員長		2023.6～現在
5	東京都助産師会（町田分会）	研修委員会 委員長		2019.6～2025.6
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	東京都町田市 いのちの授業研究会	市内の中学校において、養護教諭と助産師が協働し、各校の課題や生徒の実態に応じたオーダーメイドの授業を実施している。授業は前半に講話、後半に体験的学習を取り入れる構成とし、いのちの大切さや生と性の在り方について、生徒自身が主体的に考える機会を提供している。	2015.6～現在

5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	該当なし		
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	ハラスメント防止キャンペーン「心に響く標語・エピソード」エピソード部門 優秀賞	東京医療学院大学	2025.9
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		